Schweizerische Eidgenossenschaft
Confédération suisse
Confederazione Svizzera
Confederaziun svizra

Federal Department of Foreign Affairs

過去のイベント

2014 年 1 月

国際展「窓の表面／スロー&テンスアトモスフィア、顕在と境界」

2009 年からスタートした国際展「窓の表面」の第 3 回目が開催される。今回は「顕在と境界」をテーマとし、スイスや日本、ベルギー、アメリカ、台湾から写真を手段とした作品を一同に紹介。 スイス人のアンドレアス・クレシグ（美術家）やトマ・メゾンナス（写真家）が参加する。

1 月 18 日まで Yoshiaki Inoue Gallery、大阪
1 月 19 日まで 雅景錐、京都
詳細： http://gakeigimlet.org/

パテック フィリップ展　～歴史の中のタイムピース～

2014 年に創業 175 周年を迎えるジュネーブ唯一の独立マニュファクチュールで世界最高峰の時計ブランド「PATEK PHILIPPE（パテック フィリップ）」。スイス・ジュネーブの「パテック フィリップ・ミュージアム」所蔵のヨーロッパ産業革命時代に生きた王侯貴族や偉人たちが愛した貴重なタイムピースを展示する。

1 月 17 日– 19 日 明治神宮外苑 聖徳記念絵画館、東京
詳細： www.patek-tokubetsuten.jp

リラアンサンブル 2014 チャリティコンサート

ローザンヌ音楽院で出会った棟久木綿佳、Solange Joggi、Hilde Skomeda によるピアノトリオによるコンサート。日本初演となるスイス人作曲家ダニエル・シュニーダーのピアノトリオも演奏する。コンサートの収益の一部は「社会福祉法人 夜須高原福祉村 やすらぎ荘」に寄付される。

1 月 24 日　アクロス福岡円形ホール、福岡
1 月 25 日　佐賀浪漫座、佐賀
詳細： リラアンサンブル

講演会：レオ・シロタとベアテの日本
- 父は西洋音楽を伝え、娘は女性の未来を変えた-

日本国憲法における人権条項作成を担当し、特に女性の権利の明記に貢献したベアテ・ シロタ・ゴー ドンについて、スイス人のナスリーン・アジミ国連訓練調査研究所（ユニタール） シニア・アドバイザーとミシェル・ワッセルマン立命館大学教授が語る。（逐次通訳つき）

1 月 30 日　日仏会館、東京

2014 年 2 月

TYPO PICTURE BOOK AND MORE ...

ロマノ・ヘニ

タイポグラファー、デザイナーとしてバーゼル新聞やアートフェアなどのデザインを行う傍ら、バーゼルに構えたアトリエで活版印刷による本の制作を続けるロマノ・ヘニ。新作 Typo Picture Book をはじめ、ヘニのアトリエで制作された活版印刷による本を展示する。

© ROMANO HÄNNI

2 月 2 日まで　プリントギャラリー、東京

国際人道法シンポジウム

在日スイス大使館と、戦争や武力紛争の犠牲を強いられた人々に対して人道的保護と支援を行う、ジュネーブに本部をもつ国際赤十字委員会（ICRC）が、国際人道シンポジウムを京都で開催。日本、スイス、ICRC を代表する専門家が来日。コンプライアンスとニュー・テクノロジーをテーマににディスカッションを行う。

2 月 3 日 京都大学、京都

詳細：　赤十字国際委員会

アンサンブル・クヴァンテンシュプルングとスイスアンサンブル エンツィアン

伝統的な民族音楽の枠を超えるスイス民族音楽グループ、クヴァンテンシュプルングは、マティアス・ラントヴィンク（クラリネット）、マルクス・ビルヒャー（アコーディオン）、セヴェリン・バルメットラー（コントラバス）、アンドレアス・ビルヒャー（キーボード）の 4 名からなる。レパートリーは伝統的スイス民族音楽からモダンなサウンドやジャズに至るまで幅広い。今回はさらにイヴァン・シュタイナー（パーカッション・トランペット）とアンドレアス・ガブリエル（ヴァイオリン）が加わる。2 月 11 日の公演では、スイスアンサンブル エンツィアンと共に民俗音楽とヨーデルを奏でる。

2 月 3 日—11 日 津田ホール（2 月 11 日）など、ほか各地

詳細：　www.q-sprung.ch　　www.enzian.jp

SWISSDAYS（スイス・デイズ）

日本・スイス国交樹立 150 周年の公式開会イベント“SWISSDAYS（スイス・デイズ）” がスイス大使館主催により実施される。日本とスイスは、1864 年の 2 月 6 日に修好通商条約を調印して以来、政治、国際関係、科学技術分野において 協力関係を強化し、経済交流を発展させてきた。“SWISSDAYS”は、この記念すべき年の公式開会イベントであり、六本木ヒルズアリーナをフルに使ってフード& ビバレッジ コーナーをはめ、エリアナ・ブルキやバスティアン・ベーカーら、スイスのアーティストによるライブ、巨大スクリーンへの 3D プロジェクションマッピング投影、そして協賛各社のブ
ースなど、日本におけるスイスのイメージに新たなページを加えるようなユニークな企画で「スイス」を紹介する。

© Eliana Burki

2 月 6 日—9 日 六本木ヒルズアリーナ、東京

詳細：swissdays.jp

バスティアン・ベーカー　初来日公演

© Bastian Baker

ローザンヌ出身の若手シンガーソングライター、バスティアン・ベーカーがSWISSDAYS （スイス・デイズ）に合わせて来日し、スイス・デイズでの演奏に加え、単独ライブも行う。モントルー・ジャズ・フェスティバルの創始者、クロード・ノブスに見出された才能は、スイス国内だけでなく、フランスやベルギーでの大ヒットからも伺える。

2 月 6 日—9 日 SWISSDAYS ステージ、東京
2 月 10 日　ブルーノート東京 、東京

詳細：　bastianbaker.com

GYPSY SOUND SYSTEM　来日ツアー

© Gypsy Sound System

スイスの二人組 DJ、ジプシー・サウンド・システムが再び来日し、ダンサブルなパフォーマンスを披露する。バルカン・ブラス系はもちろん、ブレイクビーツにスカにポーランドやロシアの伝統音楽、アラビックからインドまでも織り混ぜた熱狂のライブを全国で開催する。

2 月 6 日—15 日 ドミューン、Swiss PechaKucha Night　ほか　各地

詳細：　www.gypsysoundsystem.ch/en/home.html

Swiss PechaKucha Night

© PechaKucha Night

20 秒 x 20 枚＝ 6 分 40 秒の中で誰もが好きなことをプレゼンテーションできるPechaKucha Night。この夜は「スイス」をテーマに、スイスと関わりのある建築家、ミュージシャン、デザイナー、作家らが各々の得意分野を発表します。デザイン、タイポグラフィックにアブサン、ヨーデルなど、何が飛び出すかは当日までのお楽しみ。

2 月 7 日　スーパー・デラックス、東京

詳細：　www.pechakucha.org

「時を知る　時計の歴史/日時計の誕生から最新の複雑機構への歩み」展

人類が時を計測することをはじめた時から、現代に至るまでの時計の歴史を辿る、逸品の数々が六本木に集まる。「時を知る 時計の歴史／ 日時計の誕生から最新の複雑機構への歩み」と銘打ったこの展覧会は、高級時計財団の歴史学者ドミニク・フレション氏による同名の書籍を元にしたもので、歴史および科学的な観点から時計を捉え、そして科学技術や芸術としての時計を作ってきた人間の営みを紹介する。精度を追求するとともに、さらに複雑で美しいものを絶

えることなく作り続けてきた人類の英知を讃えるものだ。その内容は天体の動きを基準とした時間の概念の誕生から、機械式、電気式、原子時計を含む最先端の時計まで、その歴史を網羅している。時計の歴史と人類の歴史のつながりに対して理解を深める、またとない機会となるだろう。

© Fondation de la Haute Horlogerie

2 月 7 日—12 日 六本木ヒルズ　多目的スペースumu (ウム)、東京
詳細：　高級時計財団

ETH Big Band チューリヒ：ジャパン・ツアー

スイス連邦工科大学チューリヒ校(ETH Zurich) およびチューリヒ大学の学生と卒業生に加え、チューリヒとルツェルンのジャズスクール出身者など総勢 21 名で構成される ETH Big Band チューリヒ。この 20 年にモントルー・ジャズ・フェスティバルを含む国内外のジャズ・ フェスティバルに多数参加し、世界的に著名なミュージシャンとも共演を果たしている。国交樹立 150 年記念行事に加え、提携大学との合同演奏会を通じて、交流を深める。

© ETH Big Band Zurich

2 月 8 日–19 日 SWISSDAYS（スイス・デイズ）、仙台、大阪、福島県いわき市、他各地
詳細：　ETH Big Band チューリヒ

「スイスの機能美 ー ビクトリノックスの 130 年」展

スイスのイーバッハという小さな村の工房で誕生したスイス・アーミーナイフ は、創業以来 4 代にわたり発展を続け、現在ではスイス・プロダクトを代表するアイテムのひとつとして世界中で愛されている。本展では、130 年の歴史で生まれた約 300 点の貴重なコレクションを展示し、スイス・アーミーナイフのデザインや機能の多様性を辿りながら、機能性と美しさを融合させるスイスのものづくりの本質を浮き彫りにする。

2 月 11 日—19 日　Bunkamura ギャラリー、東京

ギ・ボヴェ　オルガンリサイタル

スイスが誇るオルガニスト、ギ・ボヴェ待望の 5 年ぶり 5 回目のコンサート。今回はヴァレンタイン・スペシャル・プログラム。プッチーニやヴェルディに加え、日本の LOVE ソングによる即興演奏も披露する。

© Guy Bovet

2 月 14 日　横浜みなとみらいホール、神奈川

2014 年 3 月

アニメーション・アーティスト・イン・レジデンス東京 2014

海外の優れた若手アニメーション・アーティストが東京に滞在して、研修・ワークショップ、創作等を行なうプロジェクト「アニメーション・アーティスト・イン・レジデンス東京」（A-AIR）。今年はスイス人の若きアーティスト、ミヒャエル・フライが参加。日本滞在中に、音楽とアニメーションによる、ゲームの要素を組み込んだ作品制作を予定している。新作の企画プレゼンテーションやトークなどに参加する予定。

© Michael Frei

2 月 21 日、22 日 神戸、京都など
3 月 14 日 青山学院アスタジオ、東京
詳細： ジャパン･イメージ･カウンシル

「世界のブックデザイン 2012-13」展

ドイツのライプツィヒで毎年 3 月に開催される「世界で最も美しい本コンクール」の入選図書とともに、スイス、日本、ドイツ、オランダ、オーストリア、カナダ、中国、ベルギーからも優れたデザイン書籍が集められ約 200 点が展示される。スイスからは「スイスの最も美しい本 2012 入選」図書 Spector Books 発行 Pascal Storz, Jakob Kirch デザイン『静寂のように聞こえる』など 16 点が展示される。

© Ma Biće Bolje. Bosnia-Herzegovina 2001–2005

3 月 2 日まで 印刷博物館 P&P ギャラリー、東京

スイス講座 in Myoko

スイスのツェルマット村と姉妹都市提携を結んでいる妙高市では、市民を対象に、スイスへの理解を深め市民交流の輪に広げていくため、スイス人ＡＬＴを講師に全３回のスイス講座を開きます。第一回目はスイスの料理について、実際に作りながら学びます。

©妙高市

3 月 8 日 妙高市文化ホール、新潟

詳細： 妙高市

フランコフォニー祭 ：バンド・デシネ スイス人作家・コゼイ参加

スイスのグラフィックノベルアーティスト コゼイ（1950 年生、ローザンヌ）が 2014 年のフランコフォニー祭のために来日し、数々の講演会やトークに参加する。

3 月 15 日—22 日 アンスティチュ・フランセ、神奈川　他各地

© Cosey

Ensemble Profeti della Quinta 来日ツアー

バーゼルで学ぶ音楽家の育成および国際文化交流の促進に寄与する目的で創設されたアヤメ基金主催のコンサート「Swiss Week」の第 6 回目が開催される。今回はスイスを拠点に活躍するアンサンブル、プロフェティ・デッラ・クヴィンタが来日し、カヴァリエーリのエレミアの哀歌とレスポンソリウムを披露する。また、同コンサートには南山進流声明研究会も参加し、声明を披露する。

3 月 15 日—25 日 高野山大学、ミューザ川崎など各地

詳細： アヤメ基金　アンサンブル プロフェティ・デッラ・クヴィンタ

シュピーリと「ハイジ」の世界

50 以上の言語に翻訳され、児童文学の古典として今も愛読されているスイスの作家ヨハンナ・シュピーリの『ハイジ』の魅力を様々な観点から専門家が分析し発表するシンポジウム。（ドイツ語と日本語）

3 月 27 日　東京理科大学神楽坂キャンパス 8 号館 3 階　831 教室

詳細： 日本ハイジ児童文学研究会

日本・スイス国交樹立 150 周年記念：連詩の会

長きにわたりスイスで日本学を教えてきたエドゥアルド・クロッペンシュタイン、チューリッヒ大学名誉教授を中心にスイスと日本の詩人が、ひとつの詩から連想される詩を交互に作っていく 「連詩の会」を開催する。日本側からは詩人の谷川俊太郎や覚和歌子、スイス側からはクラウス・メルツやラファエル・ウアヴァイダーが参加する。最終日の 4 月 2 日は公開の連詩の朗読会が開催される。

3 月 30 日—4 月 2 日 国際文化会館、東京

ルドルフ・シュタイナー展　天使の国

ルドルフ・シュタイナー（1861-1925）は哲学者や教育者、ゲーテ研究者、そしてアントロポゾフィーの創始者として知られている。また、スイス、バーゼルの郊外ドルナッハの小高い丘の上に建つゲーテアヌムに代表される独特な建築物も生み出している。この展覧会では「黒板ドローイング」「シュタイナーの建築とデザイン」「第二ゲーテアヌム」の３つのアプローチから、シュタイナーに迫る。

3 月 23 日—7 月 13 日　ワタリウム美術館、東京

---

danke Emil ruder: 生誕 100 年を祝して

スイスのタイポグラファ、エミール・ルーダー（1914–1970）の展覧会〈danke Emil ruder　生誕 100 年を祝して〉が開催される。ルーダーの、本質を探ろうとする努力、それを伝えようとする意志、印刷されたものへの愛着、その結果として生まれた作品や著書は、今日でもタイポグラファやデザイナーのみならず造形に携わるものを鼓舞し考察をうながしている。本展では切手のような小さなサイズの制作物からポスターまで幅広く、作品の解説や教え子たちの謝辞などをまじえ展示。イベントも予定されてい

る。

© Emil Ruder

3 月 30 日-4 月 29 日　print gallery（プリントギャラリー）、東京

www.printgallerytokyo.com

2014 年 4 月

国際シンポジウム: 日本発。100 年続く国際人道支援

世界の人々の平時救済に資するため、明治 45 年に万国赤十字に下賜された十万円（現在の三億五千万円相当）を基に創設された「昭憲皇太后基金」は、時代と国境を越え、今なお世界各国の人道支援のために貢献している。戦時の救済事業が主であった赤十字に、災害・疾病・貧困等の平時支援を主旨とした画期的な事業である当該基金を多面的に紹介し、これからの人道支援について考える。

4 月 6 日 国連大学ウ・タント国際会議場、東京

詳細：　明治神宮

チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団日本公演

2006 年と 2011 年に来日して各地で名演奏を繰り広げた、デイヴィッド・ジンマン率いるチューリッヒ・トーンハレ管弦楽団が、再来日し、全校 7 か所で公演を行なう。1868 年に設立された長い歴史を持つトーンハレと巨匠ジンマンとのコラボレーションによる日本公演は今回が最後となる。

© Tom Haller

4 月 11 日–19 日 福岡、名古屋、大阪、札幌、新潟、東京

詳細：　ミュージックプラント

クリスチャンヌ・ペロション展

クリスチャンヌ・ペロションはジュネーヴ出身で現在イタリアのトスカーナに拠点を置き、精力的に石器と磁器を制作する陶芸家。美しい輝きを放つ釉薬は彼女の長年の研究成果による。定期的に日本でも展覧会を開催し、本展では最新作も展示される。

4 月 14–19 日　ギャラリーワッツ、東京

ジャック=ダルクローズ コンサート

スイス人作曲家、ジャック=ダルクローズはリトミック音楽教育の創始者として知られている。ジャック=ダルクローズ作品研究会による本コンサートでは、彼の生涯にわたる創作活動や教育活動を紹介する。

4 月 23 日　すみだトリフォニーホール、東京

親善大使 山田和樹指揮 コンサート

日本・スイス国交樹立 150 周年記念親善大使であり、スイス・ロマンド管弦楽団の首席客演指揮者を務める山田和樹指揮によるコンサートが国内で多数開催される。東京混声合唱団、日本フィル ハーモニー交響楽団、熊本交響楽団、横浜市立大学管弦楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団等との共演。

© Marco Borggreve

4 月 18 日　東京混声合唱団: 第一生命ホール（晴海トリトン）、東京
4 月 25-26、5 月 19 日　日本フィル ハーモニー交響楽団、東京・横浜
5 月 11 日　熊本交響楽団、熊本
5 月 16-17 日　仙台フィルハーモニー管弦楽団、仙台
5 月 18 日　横浜市立大学管弦楽団、東京

ワーナー・ビショフ（マグナム・フォト）展覧会: ETERNAL JAPAN 1951–52

マグナムのメンバーとして初めて日本を訪れたスイス人写真家、ワーナー・ビショフの展覧会が「第 2 回 KYOTOGRAPHIE 国際写真フェスティバル 2014」の一環として、無名舎で展示される。38 年 間の短い生涯の約一年間を日本で滞在し、報道写真家としての鋭い視線と芸術家としての美意識を合わせ持った写真を数多く残した。本展覧会では、戦後の復興期の新しい時代に突き進む日本の姿を伝える。

Silk Drying 2, Kyoto, Japan 1951 © Werner Bischof / Magnum Photos

4 月 19 日-5 月 11 日　無名舎、京都

詳細：　KYOTOGRAPHIE国際写真フェスティバル 2014

スイス・ヴィジュアル
スイス現代写真、映像芸術の現在と過去

ピピロッ ティ・リストやフィッシュリ&ヴァイスら著名な 18 組のスイス人アーティストの写真や映像作品を 2 期に分けて展示する。アンドレアス・クレシグ展「ソープ・スケープ」展もサテライト 企画として開催される。

© アンドレアス・クレシグ｜Andreas Kressig 《Soapscapes series, 2014》[Photograph]

4 月 25 日–6 月 1 日 瑞雲庵、京都
4 月 25 日–5 月 11 日　白沙村荘橋本関雪記念館、京都

詳細：　雅景錐

第 16 回 別府アルゲリッチ音楽祭

本音楽祭は、子供たちに最高の音楽を聴いて感性をみがく場をあたえ、音楽を志す若者たちは有名なアーティストたちと共演し素晴らしい音楽に触れる機会を提供することを目的に世界的有名なピアニスト マルタ・アルゲリッチにより創設。今年のテーマは「ミーティングポイント- 出会いが創るもの」。共演者はバイオリニストのギドン・クレメル他多数。

4 月 24 日–5 月 14 日 ビーコンプラザ他各地、別府、大分、　東京

詳細：　アルゲリッチ音楽祭

カヤレイ・ヴァイオリン・アカデミー
第 12 回 カヤレイ氏によるマスタークラス　Spring 2014 in 東京&名古屋
スイス・ジュネーブ近郊にある国際的ヴァイオリン専門学院、カヤレイ・ヴァイオリン・アカデミーの創始者であるハビブ・カヤレイ教授が来日し、公開マスタークラスを開催する。

4 月 28 日–5 月 6 日 東京、名古屋

詳細：　カヤレイ・ヴァイオリン・アカデミー東京事務所

小田急スイス祭・春

日本とスイス国交樹立１５０周年及び、箱根登山鉄道とスイス・レーティッシュ鉄道との姉妹提携３５周年を記念し、小田急グループが「小田急スイス祭」を開催する。春は新宿エリアでスイス料理教室「ハイジのごちそうクッキング」など、スイスの「食」や「自然」、「旅」を紹介するイベントが小田急百貨店やハイアットリージェンシー東京で予定されている。また、秋には箱根エリアでの開催が予定されている。

4 月 9 日–6 月 15 日 新宿エリア、東京

詳細：小田急スイス祭・春

アルプスの自然が織りなす　スイスの切り絵展
日本で初めてのスイスの切り絵展が開催される。日本とスイスは、両国共に切り絵の伝統を持つが、近年このユニークな工芸は、伝統的なモチーフを超えた技術を発展させたスイスのアーティスト達により再び注目を集めている。彼らは、革新的な切り絵技術を使ったミニ彫刻という新しい芸術作品を作り出している。本展では伝統的な作品から現代までスイスの切り絵の歴史が辿れる展示となっている。

© SWISS PAPER CUT ART EXHIBITION

4 月 5 日- 6 月 29 日　　富士川・切り絵の森美術館、山梨県

バルテュス展

画家バルテュス (1908-2001) の国内最大規模、没後初の大回顧展が開催される。世界の名だたる美術館のコレクションのみならず、公開されることの少ない個人蔵の作品も含め、国内ではほとんど見ることのできないバルテュス作品が並ぶ。また、バルテュスが晩年を過ごしたスイスのロシニエールにある「グラン・シャレ」の敷地内に建つアトリエも再現され、画家の知られざる創造と思考の空間が明らかにされる。

Balthus《The King of Cats》1935 Oil on canvas, Fondation Balthus deposit Musée Jenisch Vevey, 78x49.5cm

©Fondation Balthus, dépôt Musée Jenisch Vevey

4 月 19 日–6 月 22 日 東京都美術館

7 月 5 日–9 月 7 日 京都市美術館

詳細： バルテュス展

2014 年 5 月

春のスイスフェア

満開の園内で、スイス音楽と文化を楽しむスイスフェアが開催される。玉川アルプホルンクラブによるコンサートやアルプホルン体験会、スイス絵本やオルゴールの紹介、スイス料理が堪能できるガーデンパーティなど、盛りだくさんのプログラム。

5 月 3 日–6 日、5 月 18 日 京王フローラルガーデン　アンジェ、東京

詳細： 京王フローラルガーデン アンジェ

ズィメルマン＆ド・ペロ:　"Hans was Heiri"

型破りでユニークな作品作りで注目されるスイスの二人組アーティスト・ユニットズィメルマン＆ド・ペロが、最新作を携えて再来日する。TACT/FESTIVAL 参加作品でもある"Hans was Heiri"は、傑出した技を持つ５人の曲芸師とダンサーと共に創作した、大人から子供まで親子で楽しめる作品。

© Mario Del Curto

5 月 9 日–11 日 東京芸術劇場プレイハウス

JASON KAHN 初来日ツアー

ミュージシャン(エレクトロニック、ドラマー、作曲家)としての活動に加え、インスタレーション・アーティスト、ライターとしても活躍しているジェーソン・カーンの初来日ツアー。

© Jason Kahn

5 月 9 日–24 日 東京、京都、大阪、神戸、福岡、名古屋

詳細： ジェーソン・カーン

スイスからこんにちは　ドクターモンタニの医学講演会：ソフトドリンクの弊害

スイスのフリブール大学教授のジャンピエール・モンタニ医学博士が、ソフトドリンクの弊害と題し、健康について講演を行う。定員は 100 名で先着順。参加費は無料。

5 月 10 日 津山市城西公民館、岡山

詳細：城西公民館　℡：0868-31-0102

室内楽の夕べ「バロックから古典派へ」

スイスの古楽器専門音楽院、バーゼル・スコラ・カントールムで研鑽を積んだ音楽家からなるカプリコーヌス・コンソート・バーゼルによるコンサート。バッハ、ハイドン、モーツァルトの作品を演奏する。

5 月 17 日 ファミリアホール、神戸

詳細： カプリコーヌス・コンソート・バーゼル

2014 池袋ジャズフェスティバル

本年で 11 回目を迎える「池袋ジャズフェスティバル」にスイス人新進気鋭のジャズピアニスト、クロード・ディアロがトリオで登場する。モントルージャズフェスティバルをはじめ、数多くのフェスティバルに出演、またパリ、ベルリン、マドリードなどヨーロッパの主要都市のほか、アメリカ、アジアの大都市でも数多くのコンサートをこなしているピアノトリオ。池袋ジャズフェスティバルでの演奏に加え、みらい館大明にて「スイス音楽とジャズピアノミニライブ」と題したワークショップも開催する。

© Claude Diallo

5 月 17-18 日 池袋ジャズフェスティバル、東京

5 月 18 日 みらい館大明 、東京

詳細： クロード・ディアロ

第 3 回スカイスポーツ国際交流フェスティバル

「ふくしま農業希望祭」
福島復興のシンボルとして開催される当イベントには、日本・スイス国交 150 周年を記念して、スイス航空連盟加盟のエアロバティックス選手を招聘。セレモニーでは、記念植樹や福島県スイス交流団の結団式を行われます。また、会場では、航空関連総合展示飛行、体験搭乗、農業振興特設展示および展示即売も開催。

5 月 24–25 日 ふくしまスカイパーク、福島県福島市

詳細： **www.ffa.or.jp**

スイスワインの会：
世界ソムリエコンクール最優秀賞受賞者パオロ・バッソを迎えて
今期 A.S.I. 世界 最優秀ソムリエコンクールで優勝したスイス人ソムリエ、パオロ・バッソ氏を迎え、希少なスイスワインの紹介と試飲会が開催される。

5 月 25 日 神戸倶楽部、神戸

詳細：株式会社KIP 078-371-1678
パオロ・バッソ

スイスの現代音楽シーン: コンサートとシンポジウムの 4 日間
Goethe-Institut ドイツ文化センターとの協力のもと、スイスの現代音楽シーンをコンサートとシンポジウムにより、紹介するイベントが開催される。国内ではまだ聞く機会の少ない、チューリング・ブレーム、ジャン-リュック・ダルブレー、マックス E. ケーラー、 マルクス・フォーファーら現代スイス人作曲家らの作品も演奏、紹介される。

5 月 28 日–30 日 ドイツ文化会館ホール、東京
5 月 31 日 両国門天ホール、東京

詳細： nothing but music
www.goethe.de/ins/jp/tok/deindex.htm

ショートショートフィルムフェスティバル(SSFF) & ASIA 2014

© Lothar by Luca Zuberbühler

今年も国際短編映画祭「ショートショートフィルムフェスティバル & アジア」が開催され、世界中から集められた約 5000 本の中から、厳選された約 100 作品を上映する。今年はスイスからインターナショナル部門に２作品、CG アニメーション部門に２作品がノミネートされている他、「スイス特集」として選りすぐりのスイス映画も上映される。
・インターナショナル部門ノミネート作品： Marcel Hobi 監督作「コレクターズ」、Jan-Eric Mack 監督作「アルフォンソ」
・CG アニメーション部門ノミネート作品：Ted Sieger, Wouter Dierickx 監督作「キュートなおしり」、Mauro Carraro 監督作「サンチアゴ巡礼」

5 月 30 日– 6 月 15 日　原宿・表参道など各会場、東京

詳細：　http://www.shortshorts.org/2014/

2014 年 6 月

AOI & MAX HUBER 展覧会

バール出身で戦後ミラノに渡り、世界のデザイン界を牽引したグラフィックデザイナー、マックス・フーバーと、その妻であり、現在も精力的に活動しているティチーノ州在住のイラストレーター、葵・フーバーの展覧会を開催。マックスが具体美術運動に関わっていた 1940 年代に制作された幾何学構成とタイポグラフィを組み合わせた作品や色彩豊かな線と形でいろどられた葵の新作絵画など、「アブストラクト・コンクリート」をテーマに、日本人とスイス人である両者の感性が織りなすグラフィックデザインの世界を紹介する。

© AOI & MAX HUBER

6 月 2 日–23 日 Gallery 5610、東京

詳細：　www.deska.jp,　www.puntovirgola.jp

合せ論および計算幾何に関する日瑞ワークショップ

2012 年にスイスで開催された第 1 回ETH-Japanシンポジウムおよびワークショップの第 2 回目が日本で開催される。今回は、組合せ論と計算幾何に焦点をあて、スイスと日本の研究交流促進を目指す。

6 月 4 日-6 日　東京大学、東京

詳細:　http://qci.is.s.u-tokyo.ac.jp/~js2014/

ELUVEITIE（エルヴェイティ）

スイスのフォーク・メタル／メロディック・デスメタルバンド、エルヴェイティの待望の初来日ツアー。民族楽器も取り入れた 8 名のバンドメンバーから構成されている。

6 月 5 日 難波ROCKETS、大阪
6 月 6 日 クラブ スリー スター、名古屋
6 月 7–9 日 渋谷cyclone、新宿Wildside、東京

© ELUVEITIE

情報：　ELUVEITIE

クリスティアン・クラハト朗読会：『帝国』
現代のドイツ語圏の優れた作家の一人に数えられているスイス人作家でジャーナリストのクリスティアン・クラハトが来日し、彼の小説『帝国』を朗読する。また、朗読に引き続き、クリスティアン・クラハトと縄田雄二教授（中央大学文学部）との対談も開催される。対談では、創作のプロセスや、多様な視点からドイツの植民地時代から帝国時代の歴史について触れる。

6 月 6 日　　東京ドイツ文化センター図書館

ＴAMA 映画フォーラム 6 月特別上映会
『ネガティブ：ナッシング 全てはその一歩から』
東日本大震災後の日本を縦断したスイス人男性の旅を追ったドキュメンタリー。スイスの旅行会社で日本旅行を担当していた青年トーマス・コーラは、東日本大震災の影響で日本を訪れる旅行者が激減したことから職を失ってしまう。そこで彼は、日本にはまだ安全な場所がたくさんあることを世界中の人々にアピールするため、日本列島を北から南まで徒歩で縦断することを決意。2900 キロにおよぶ旅の中で、さまざまな人々との出会いと別れを繰り返しながら歩き続ける姿を追う。スイスでは、自主配給ながら既に 1 万人以上の観客を動員、また全上映会が満席になる大記録を作っている。タイトルは、毎日日記（本人ドイツ語、英語訳、日本語訳）に書き続けたカレンダーの項目（天気、宿泊地、ポジティブなこと(Positiv)、ネガティブなこと(Negativ)など）の“Negativ: nichts”から取られた。ヤン・クヌーセル監督によるトークショーも開催予定。

6 月 7 日　多摩市立永山公民館　ベルブ永山５Ｆ、東京

詳細：　TAMA映画フォーラム
映画詳細：　http://negativenothing.com/ja/

第 7 回菅平スカイライントレイルランレース＆アウトドアフェスタ
「スイスアルパインマランソン・ダヴォス」の姉妹レースである菅平スカイライントレイルランレース＆アウトドアフェスタが今年も盛大に開催される。菅平高原の美しい自然を堪能しながら楽しむことができる、初心者から上級者まで対応するコース設定。

6 月 14－15 日　菅平高原、長野

詳細：　第 7 回菅平スカイライントレイルランレース＆アウトドアフェスタ

Crossing Views” Switzerland Seen through Japanese Eyes
日本人アーティストがとらえたスイス
スイス南西部に位置するクラン・モンタナのアーティスト・イン・レジデンス・プログラム Combaz7 から生まれるプロジェクトシリーズの第一弾。４組５名の日本人アーティストがクラン・モンタナに滞在し、制作した成果が本展で発表される。また、本展は 6 月にクラン・モンタナでも開催される。

6 月 15 日　　ニコラス・G・ハイエックセンター

詳細:　CM Arts

「ヴァロットン ―冷たい炎の画家」展

スイス・ローザンヌに生まれ、フランス・パリで活躍した画家、フェリックス・ヴァロットン(1865-1925)の日本初の回顧展。ヴァロットンは、白と黒のみの鮮烈なコントラストの革新的な木版画や、数多くの油彩画などにより、２０世紀以降の様々な芸術流派にも影響を及ぼした。ヴァロットンの研ぎ澄まされた観察眼を通して描かれた世界には、神秘的な虚構性や抑圧された暴力性が見え隠れし、その多面性と現代性が観る者を魅了する。

フェリックス・ヴァロットン《ボール》1899 年　油彩、板に貼り付けた厚紙　48×61 cm　パリ、オルセー美術館
© Rmn-Grand Palais (musée d'Orsay) / Hervé Lewandowsky

6 月 14 日–9 月 23 日　三菱一号館美術館、東京

チューリッヒ芸術大学: レインボウ 21 インターナショナル
2008 年より、サントリーホールが国内外の才能を持つ若き音楽家たちへの支援として開始した 「レインボウ 21 インターナショナル」。若き音楽家に演奏の場を提供するこのプロジェクトに、今年 はチューリッヒ芸術大学より優れた学生が招待され、演奏を行う。

6 月 18 日　サントリーホール、東京
6 月 20 日　武蔵野音楽大学ベートーヴェンホール、東京

高齢化社会へ向けたシンポジウムースイスと日本
イスと日本、双方の事情を通じて現代のもっとも重要な課題のひとつー高齢化社会ーへの対応を考えるシンポジウム。高名な専門家が社会と栄養といった多様なテーマでそれぞれの観点を紹介する。

6 月 30 日 六本木アカデミーヒルズ、東京

詳細：　http://aging.stofficetokyo.ch

2014 年 7 月

15 周年記念シンポジウム：STAM
2014 年、スイス連邦材料研究所（Empa）が日本の物質・材料研究機構（NIMS）の発刊してきたScience and Technology of Advanced Materials Science, Japan（STAM）に共同編集者として加わりました。STAMは材料科学分野の国際的なオープン・アクセス・ジャーナルです。STAMの刊行 15 周年を記念して、東京大学の山上会館でシンポジウムが開催されます。

7 月 3 日 東京大学山上会館、東京

Info:　NIMS

山田和樹指揮　スイス・ロマンド管弦楽団

日本とスイスの国交樹立 150 周年、親善大使も務める山田和樹は、2009 年、ブザンソン国際指揮者コンクールで優勝し、今ヨーロッパで最も注目される指揮者の一人。各地のトップオーケストラと共演を重ね、その評判が評判を呼び聴衆からもオーケストラ からも熱烈なラブコールを受けている。名門スイス・ロマンド管弦楽団とは 2010 年に初共演、衝撃的な成功をおさめ、即時に「首席客演指揮者」への就任が決まったというエピソードがあり、2012 年の就任披露コンサートが日本でも大きく報道された。本公演は、マエストロが、相思相愛とも言うべきオーケストラと行う初めての来日公演。オーケストラの色彩感豊かな音色、華やかで印象的なフレージングで紡がれるプログラムが予定。また同氏が信頼を寄せるヴァイオリニスト樫本大進氏との共演にも期待が高まる。

© Marco Borggreve

7 月 5 日ー12 日　福井、愛知、神奈川、東京、岡山、熊本

詳細：　ジャパンアーツ

和洋の室内楽　音の階調

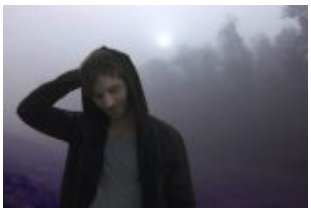
深海さとみ・藤原道山 + スイス・ロマンド管SP

箏奏者の深海さとみや尺八奏者の藤原道山を始めとする一流の邦楽演奏家と、スイス・ロマンド管弦楽団のスペシャルメンバーが初共演。「春の海」など、近代日本で作曲された和洋混合の曲や、スイスを代表する作曲家アルテュール・オネゲルの曲も演奏。一夜限りの夢の特別共演。

7 月 6 日　　横浜能楽堂、神奈川

Hula Honeys Japan Tour 2014

「エモトロニック・サンシャイン」をキーワードに、スイスのチューリッヒを拠点にデジタル配信とレコードでのリリースを中心に活動するインディー・レーベル「HULA HONEYS」。2013 年の中国と日本でのツアーの成功を受け、また、フェルダーメルダーの特別日本盤版ＣＤ『Unusual　Vacation Music』の発売に合わせて、レーベルのアーティストの中から、フェルダーメルダー（Feldermelder）と DJ のニック（Nik!）が来日する。



© Hula Honeys Records

7 月 7 日ー21 日 東京、新潟　など

詳細：　Hula Honeys

国際児童文学館展示

「ハイジと妖精の国　スイスの子どもの本 ー日本・スイス国交樹立 150 周年記念ー」

スイスでは「ハイジ」をはじめ、多くの子どもの本が出版されている。特に絵本には古典的なクライドルフ、フィッシャーの他、今年生誕 100 年を迎えるウォーリャ・ホネガー・ラヴァターなど現代にいたるまで、世界の絵本界への影響は計り知れない。日本とスイスとの国交樹立 150 周年を記念し、大阪府立図書館では、スイスの子どもの本を紹介する展示やクイズラリー、お話し会などを開催する。

7 月 8 日ー9 月 21 日　大阪府立中央図書館　国際児童文学館、大阪

詳細：　大阪府立中央図書館　国際児童文学館

メルヘンの国のマイスター：ハンス・フィッシャー 絵本原画展

スイス人の絵本作家ハンス・フィッシャー（1909-1958）の絵本原画展が開催。『こねこのぴっち』 や『ブレーメンのおんがくたい』『長ぐつをはいたねこ』に加え、スイスの教科書に描いた作品など、約 50 点が展示される。

© HANS FISCHER Exhibition, Kariwa town library: Rapika

7 月 12 日ー27 日　刈羽村生涯学習センター「ラピカ」新潟

椎名豊＆ドミニク・ジロー　クィンテット：日本ツアー

スイス人ベーシスト、ドミニク・ジローのカルテット(ガブリエル・ダルヴィ(as)、トーマス・ルッツイ(ts)、ライオネル・ボッカラ(ds))にピアニストの椎名豊が加わるクィンテットのツアーがスイスと日本との両国で開催される。

7 月 23 日-26 日 名古屋、静岡、東京

詳細：　椎名豊ライブスケジュール、　Dominique Girod

Lugano 4-Tunes：来日公演

ルガーノ市の音楽院スヴィッツェラ・イタリアーナ(Conservatorio della Svizzera Italiana)で学ぶ若き音楽家たちで構成される弦楽四重奏団「Lugano 4-Tunes」が初来日し、全国各地で公演を行う。彼らの来日ツアーには、スイスのテレビ局が同行し、ドキュメンタリー番組を作成予定など、スイスで注目の期待の新人。

© Lugano 4-Tunes

7 月 25 日 田辺市立美術館、和歌山
7 月 26 日　むくの木ホール、大阪
7 月 28 日　旧酒蔵　「古新館」、群馬
7 月 29 日　東京オペラシティー 「近江楽堂」東京
7 月 30 日　つま恋　ヤマハリゾート、静岡

詳細：ミッテンヴァルト
TEL：03-5957-1512／FAX：03-5957-1513 E-Mail：　mittenwald-vn@nifty.com

---

日本・スイス国交樹立１５０周年記念コンサート：

尺八とジャズピアノの共演 ～映像も交えて～

スイス人ピアニスト、作曲家そして映像作家でもあるロジェー・ワルッヒ が関西を拠点に活躍する尺八奏者の松本太郎とコンサートを開催する。2004 年から演奏活動を共にしている彼らの音楽は、和洋楽器の組み合わせの妙を見せる。このユニットでは、2006 年、CD「Live」、2008 年夏、CD「Immortal Remains」をリリース。2008 年、ファーストインパクト (First Impact) 主催第一回「街のピアニスト・コンクール」クリエイティブ賞受賞など。

7 月 26 日　　なら１００年会館、奈良

予約：080-5333-9375　　©

Roger Walch & Taro Matsumoto

詳細：　http://rowalch.wix.com/piano#

No Tradition! No Creation!

インテリアやプロダクト等、さまざまな分野のデザインを手掛けるスイス・ロカルノ出身のクラウディオ・コルッチ。今年 3 月にドバイで開催されたデザインアートフェア “DESIGN DAYS DUBAI” の CLEAR EDITION & GALLERY ブースにて、彼の作品も紹介された。その凱旋帰国展示が伊勢丹新宿本館で開催される。

7 月 31 日－ 8 月 12 日　伊勢丹新宿店本館５階 ウエストパーク、東京　　© C.C.DESIGN Inc.

2014 年 8 月

第 19 回あしながチャリティコンサート

アルプスに響くスイスヨーデルと民俗音楽の調べ

東日本被災遺児のためのレインボーハウス建設支援として開催されるチャリティコンサート。収益はあしなが育英会（ＮＧＯ）に寄付される。スイスと日本の国交樹立 150 年の記念として、スイスヨーデルを中心としたレパートリーで知られる「スイスアンサンブルエンツィアン」が美しいスイスの民俗音楽を届ける。

8 月 9 日　青梅市民会館、東京

詳細：あしながおばさんＳ ℡：0428-23-8075 (18:00～)、042-579-3925 (19:00～)

第 3 回富山・バーゼル医薬品研究開発シンポジウム

平成 21 年 10 月に富山県とスイス・バーゼル地域の二つの州政府が締結した医療品分野の国際協力に関する協定に基づき、医薬品分野における交流を一層促進するため、二年に一度、富山とバーゼルとで交互にシンポジウムを開催している。そのシンポジウムが本年は富山で開催される。バーゼル大学や富山大学などから専門家がスピーカーとして参加する。

8 月 12 日 富山国際会議場メインホール、富山

詳細：富山県厚生部くすり政策課　℡　076-444-3236

ダルクローズ・リトミック国際大会 2014
スイスの作曲家、音楽教育家である エミール・ジャック＝ダルクローズ（1865～1950 年）によって創られた、音楽を総合的かつ合理的に学ぶための音楽教育法、リトミック。海外より 16 名、国内より 5 名の講師陣を迎え、ワークショップ等を開催する。

8 月 17 日–21 日　昭和音楽大学、神奈川

詳細：　日本ジャック＝ダルクローズ協会

来日コンサート：Flavio Ferri Benedetti ＆ Ensemble Il Profondo
日本とスイスに関わりを持つ若手音楽家の育成および国際文化交流の促進を支援するスイス・バーゼルを拠点とする「アヤメ基金」が主催するコンサート。世界からバーゼルに集まる若い才能を日本に紹介する。

8 月 22 日-9 月 7 日　札幌、函館、岩手、山形、富山、京都、東京

詳細：　アヤメ基金、　Flavio Ferri Benedetti 、　Ensemble Il Profondo

第 5 回　天然スイス漆喰の塗り壁のある風景　コンテスト 2014
45cmの木枠の中に、スイス漆喰を使って自由に作品を作り出す『塗り壁創作部門』と、スイス漆喰で仕上げた壁を背景に、暮らしの風景やお気に入りの１シーンを撮影する『Ｐｈｏｔｏ部門』の２部門からなるコンテストが今年も開催される。作品は、新宿リビングデザインセンター1 階 パークタワーギャラリーに展示され、上位優秀作品には賞品が授与される。

応募受付 **4 月 1 日ー7 月 9 日**
作品展 **8 月 29 日ー8 月 31 日**　新宿リビングデザインセンター、東京

詳細：イケダコーポレーション
http://iskpark.com/2014/03/11419/

2014 年 9 月

シンポジウム：「新しい日本の選択」～スイスモデルを考える～
経済大国として発展してきた日本も、ここに来てかつての活力を失い、地域格差の広がりや東日本大震災・福島原発事故など、新たな難題に直面している。この状況を打ち破り、課題を克服するために何が必要なのか、スイスを例に検討する。

9 月 13 日 大阪国際交流センター、大阪

詳細：公式ウエブサイト　http://www.swissmodel.jp/

ドキュメンタリー映画「星の子アルフェ」

スイスを舞台とした、カナダ制作のドキュメンタリー映画の上映会が開催される。アルフェは遺伝子障害のために発達が遅れている。父ユゴーは、アルフェを特別学級には入れず、スイスのアルプスに一年間移り住み、大自然の中で娘の成長を見守ることにした。父である映画監督ユゴー・ラチュリップが、娘アルフェとの日常を愛情豊かに描き、教育とは何かを問いかける。2013 年第 40 回日本賞、福祉教育カテゴリー最優秀賞受賞作品。

9 月 17 日　カナダ大使館 オスカー・ピーターソン シアター、東京